

想いを紡ぎ、実った場所。

道の駅あびら D51 ステーション

ついに2台が並んだ。

SL D51 320。

安平町追分 SL 保存協力会により長きにわたり保存。

全国屈指の保存状態。

地域の人のみならず、多くの人に愛されてきた。

キハ 183-214。

2018 年春。その役目を終えた車両を“未来に残そう”と北海道鉄道観光資源研究会が保存に動いた。保存のため研究会では、クラウドファンディングによる支援者を募り、その想いに共感した多くの支援によりこの日が訪れた。

2台の車両は、2018 年9月に道の駅あびら D 51 ステーションで出会うはずだったが、9月6日の地震の発生により延期。

その後も多くの人が2台が並ぶことを信じ作業を進めた。

そして、6月16日10時ごろ。

2台の車両が並んだ。

